

にこで

～和手～

2017年春号 南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹 発行

「にこで」を発行し始めてから、ちょうど5年が経ちました。第1号で「支援者の皆さんが感じた課題を少しでも解決し、充実した活動を続けていくための応援をしたいと思っています。」と創刊のあいさつをしましたが、まだまだ力不足を感じています。少しでもお役にたつ紙面を目指していきますので、引き続きよろしくお祈りします！



はぐはぐの樹ホームページ リニューアル 「南区子育てカレンダー」の充実にご協力を！

皆さんは、はぐはぐの樹ホームページの中にある「南区子育てカレンダー」をご存知ですか？それぞれの支援場所の開催スケジュールやイベントの案内を書きこんでPR出来るようになっています。

このたび、ホームページをリニューアルしたのに伴い、「南区子育てカレンダー」への入力スマートフォンからも簡単にできるようになりました。ぜひ、たくさん入力して、子育て情報の発信にご協力ください！

新しいホームページでは、はぐはぐの樹の様々な取り組みが一目でわかるように工夫しました。6月6日公開です。ぜひアクセスしてくださいね！



バナーも新しくなりました！詳しくは、各支援場所にお送りしている改訂版入カマニュアルをご覧ください！

子育てパートナーの 南区の子育て支援 活動紹介 北永田地区 子育てサロン ぽてと(中央)

北永田地区の子育てサロン「ぽてと」は、永田中央町内会館（毎月第3木曜日）と永田町上第六町内会館（毎月第4金曜日）の2か所で開催されています。

今回、訪問したのは永田中央町内会館。10時ごろから、ひと組ふた組と集まりはじめ、やがて近隣の親子が続々と

来所して遊び始めました。最近では0歳の利用が多く、赤ちゃん学級で知り合った方々が半数近くいました。

11時を過ぎたころから0歳児は眠くなりはじめ、溢れていた笑い声はいつしか鳴き声の大合唱に…。やがて、一人二人と眠った後は、ママたちのおしゃべりタイムになりました。

ぽてと（中央）では、子ども服のリサイクルコーナーを設けていて大好評です。ママたちは夏物の洋服や、帽子、水着など購入していました。

会場の目の前は公園です。ちょっと大きなお子さんは開いている玄関から外を眺め「公園で遊びたいな～」とキラキラした瞳で訴えます。数人の子どもたちは公園に出かけてひと遊びし、満足して戻ってきました。

はぐはぐの樹等の常設の支援場所からは少し遠いエリアなので、参加者は「近所で集まれる場所があるということはとてもありがたいです。」と話していました。



ぽてとのシンボルマーク。かつてこの地域でジャガイモの栽培が盛んだったところから、サロン名が決まったそうです。

子育てパートナーは、子育て中の様々な困り事に、ひとりひとりに合った支援を紹介し、関係機関へつなぎます。29年度は、地域の子育てサロンでも「出張相談」を行っています。どうぞよろしくお祈りします。

3月27日、はぐはぐの樹交流スペースで、一般社団法人こどもみらい横浜 普及啓発グループの増子ひとみさんを講師に迎え、「さまざまな家族のカタチ ～里親制度って？～」を開催し、22名が参加しました。

前半は、里親制度に関するお話で、里親の種類やどのように里親になるのか、横浜市独自の制度フレンドホームについて教えていただきました。（この内容の概要は「こどもみらい横浜」のホームページで見ることができます。）

後半は、増子さんご自身の里親としての経験談をじっくり聞かせていただきました。ユーモアとお子さんへの愛情溢れるお話で会場は暖かい空気に包まれました。

【参加者感想より（一部抜粋）】

- 里親制度を特別視してしまうのは「子どもは母親が育てるべき」という日本の強い価値観が関係しているような気がして、子育て支援を利用することへの罪悪感の問題とも根っこがつながっているんじゃないかと感じました。
- いかにも自分が里親を勝手なイメージで考えていたかを感じました。里親は子どもが欲しい大人の制度ではないこと、子どものための制度であることがとても響きました。
- 家族のカタチはそれぞれでも、関わる大人たちが子どもに根気強く向き合っていくことができれば、色々な困難があってもなんとかなるものだと、お話を聞いて感じる事ができました。そして、そのためには、周囲や社会の理解と支えがもっともっと必要だと思いました。

スタッフレポート

広がっています！子どもの居場所づくり

「子ども6人に1人が相対的貧困」という衝撃的な事実が広く認識されるようになって、徐々に広まってきた「こども食堂」。子どもたちに無料または低価格で食事を提供することを入口として、必要に応じて学習のサポートや居場所提供等の支援を行う活動で、南区でも数カ所で取り組みが始まっています。今回は地域活動ホーム「どんとこい・みなみ」で行われた様子を拝見しました。



5月26日金曜日の17時、どんとこい・みなみの「みなみこころーム」に様々な年代の地域の皆さんが集まってきました。この日、第2回になる「こどもダイニング ～どんとこい食堂～」の一環で「地域を知ろう！！」のお話を聞くためです。東蒔田町在住の中村さんが少女時代に経験した昭和20年5月29日の横浜大空襲と戦中戦後の困難な生活について、写真資料を示しながら約1時間にわたって分かりやすく語っていただきました。小学生10名と大人15名程が熱心に聞き入りました。お話の最後の方で、中村さんがじみじみと語られた「ご飯が食べられること。お布団で寝られること。しあわせなことよ。」の言葉がズシリと心に響きました。



18時から食事会。この日のメニューは、中村さんのお話になんで「すいとん、芋がら煮、パン、サラダ、ヨーグルト」が用意されました。チケット販売に行列ができるほどの参加者で食堂は大賑わい。すいとんや芋がら煮など普段馴染みのないお料理もおいしそうに食べる子どもたちの姿が微笑ましかったです。

今回、中心になって企画・運営をされている村山さんは「地域の皆さんから予想以上の反応があった。次回の実施は未定だが、定着出来るよう考えていきたい。」と手ごたえを感じておられるようでした。見学させていただいて、自分たちもなにかお手伝いしようと思いました。同じように感じている人たちの力を集めて、さらに活動を広げていきたいと思いました。

★編集後記★

29年度第1回の支援者向け研修会を準備中です。チラシと次号でお知らせしますのでチェックしてくださいね！

「にこで～和手～」第21号

【発行】

南区地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹 (サポートルーム)
 〒232-0056 南区通町4-115 アイライン弘明寺2階
 TEL:720-3655 FAX:715-3815
 MAIL:info@haghagnoki.jp

